

「読むこと」単元板書＆ワークシート

2学期物語文編

楽しくできる方法が知りたい

明日の授業が心配

主体的で対話的深い学び

力を付ける国語授業

個別最適って低学年で？

問い合わせをもつ授業？

国語科における資質・能力の育成

課題

- ・ 単元目標にどのような指導事項が掲げられていようとも、毎回、登場人物の気持ちを考えたり、形式的な段落分けに終始したり、教師の解釈を探し当てたりするような、**子どもたちの主体的な学習**とはほど遠い、教師の勝手な都合で進められる学習が散見される

初等教育資料令和5年8月号No.1036

文科省教科調査官 大塚健太郎

国語科における資質・能力の育成

課題

- ・特定の言語活動や学習活動に固定
- ・言語活動で読むことの学習を行っていると錯覚
- ・ある特定の解釈に到達することが「読めた」という評価
- ・教師の勝手な読みの解釈を押しつけられる

初等教育資料令和5年8月号No.1036

文科省教科調査官 大塚健太郎

教材分析シート



「読む」～教材研究

教材研究シートで教材研究

物語文

1 児童の初発の感想検討

この話は

児童の感想を予想

2 主筋をとらえる

主題をとらえる

する話

3 場面をとらえる

場面の数は（ ）場面
それぞれの場面を短くまとめる（ 時・場・人で分けた
～した〇〇）

時・場・人で分けた
～した〇〇）

【一場面】（

～した〇〇）

【二場面】（

～した〇〇）

【三場面】（

～した〇〇）

【四場面】（

～した〇〇）

【五場面】（

～した〇〇）

【六場面】（

～した〇〇）

場面ごとの内容をとらえる

4 基本四場面に分ける

結末

山場

展開

設定

場面ごとの役割をとらえる

5 物語の設定を読む

【時】

【場所】

【中心人物】

【重要人物】

物語の設定を読む

6 変容を考える

- 何が変わったか（主に中心人物の心情）
- どのように変わったか
- どうして変わったのか



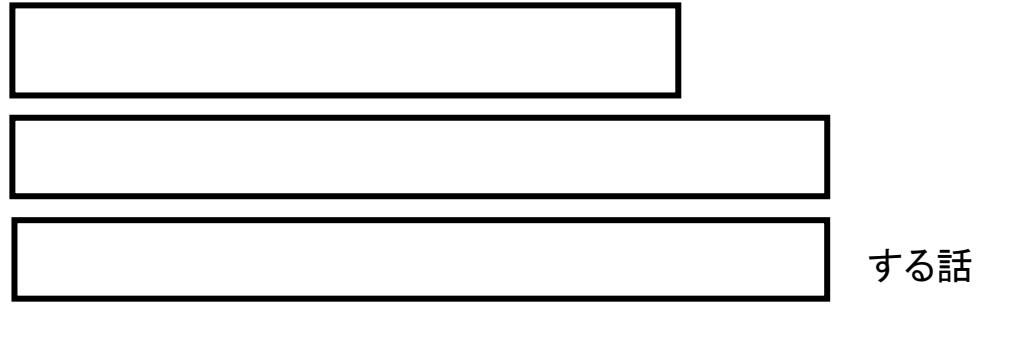
によって

物語の変容を読む

児童の感想検討

この物語は

主筋を捉える



場面を捉える

()場面	時・場・人物で分ける
【1 場面】 (～した〇〇)
【2 場面】 (～した〇〇)
【3 場面】 (～した〇〇)
【4 場面】 (～した〇〇)
【5 場面】 (～した〇〇)

基本4場面に分ける

結末

山場

展開

設定

設定を読む

【時】

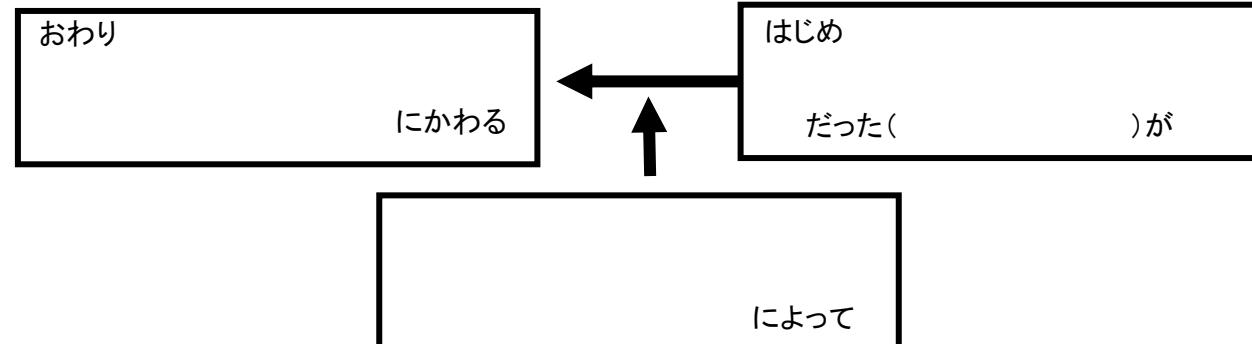
【場所】

【中心人物】

【重要人物】

変容を考える

- ・何が変わったか(主に中心人物の心情)
- ・どのように変わったか
- ・どうして変わったか

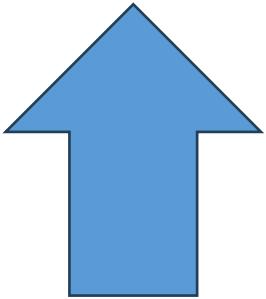


課題解決的な**言語活動**

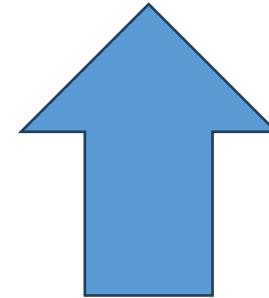


自分・みんなの「？」を考えて、アウトプットする活動
(自分・誰か・みんなに)

課題解決的な言語活動

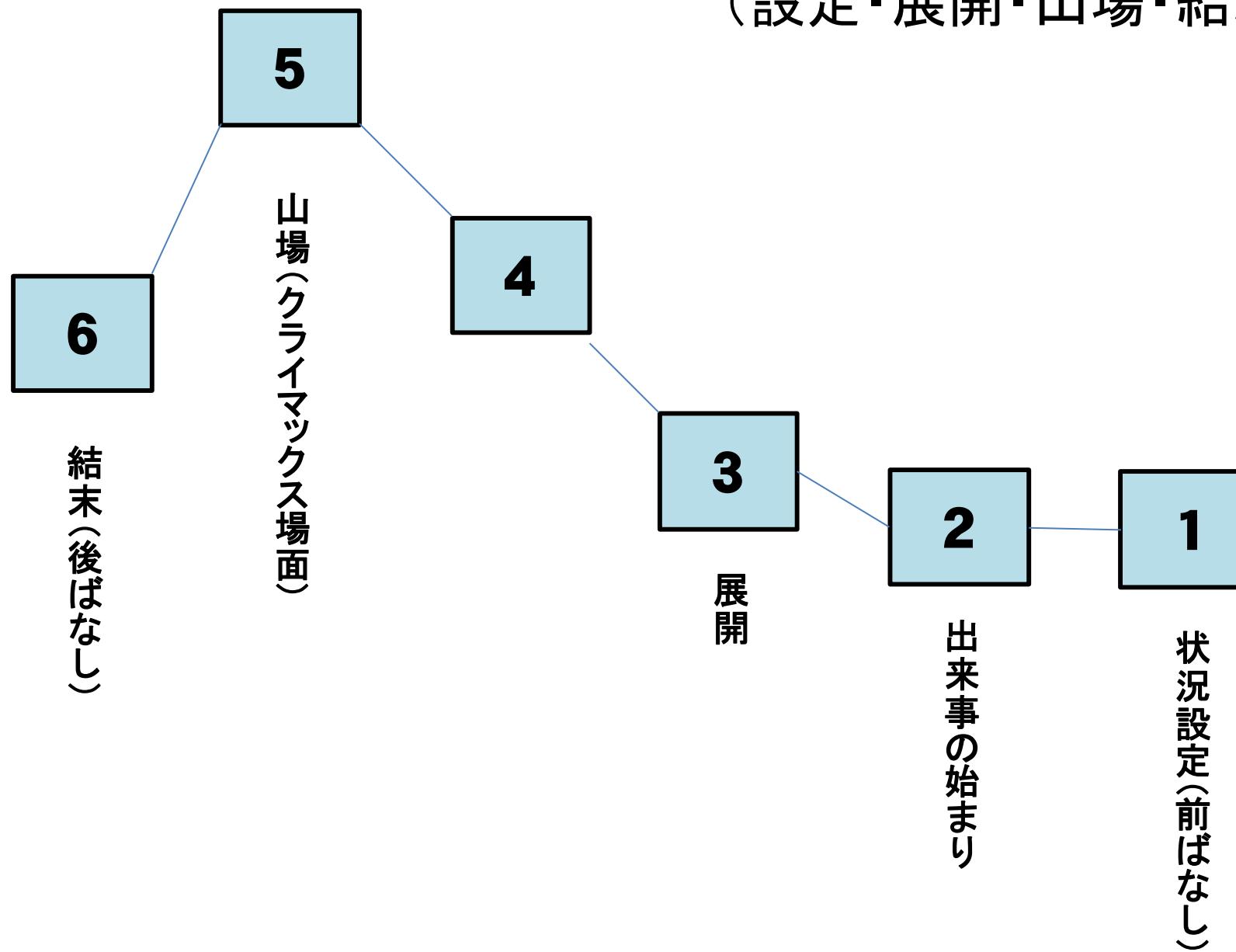


魅力のある「？」



誰か・みんなにアウトプットしていかないといけない必要性

物語の基本四場面 (設定・展開・山場・結末)



- 1 場面はいくつ?
三つの観点で分ける → 時・場・人（状況）
- 2 中心人物は誰?
物語全体を通して気持ちやその変化が一番詳しく書かれている人物
- 3 中心場面はどこ?
物語全体を通してあることが大きく変わる場面
「あること」は多くの物語は「中心人物の心」

4 前ばなし・後ばなしをしっかり読む

「お話」のおおもとになる「いつ・どこ・だれ」が紹介されている

5 山場の場面を読む

- ・ 何が変わったのか
- ・ どのように変わったのか
- ・ どうして変わったのか

6 山場の場面から物語全体をとらえ直す

1年 光村
「やくそく」

付けたい力
だれが何を言ったのか何をしたのか読む

やくそく

学習計画表八時間

付けたい力

だれが何を言つたのか何をしたのか読む

初発の感想・学習課題

内容をとらえる

だれが何を言つたのか
読む

だれがどんなことをし
たのか読む

読んで考えたことを伝え
合う



8

7

6

5

4

3

2

1

やべしゃー・な

「かぜ わち

め
おはなしをよんぐ、かんぐりをこなす

やべしゃー」がせわわざる わなしがいたひと

あおむしりへ?

くねくねしている
はっぱにいる
ちょうになる

やくやくじうまなしまびじうおはなしだと
おもいますか?

○よんでもひたこと

おもしろかつた
なかよくなつてよかつた
けんかしていたのはよくない
うみがみれてよかつた

○だれがでてきましたか? (じぶんではなすもの)

あおむし いつぴきめ
あおむし にひきぬ
あおむし さんびきめ
おおきな木

○じょひすによゐるよひにれんしあひよつ

やへんぐ

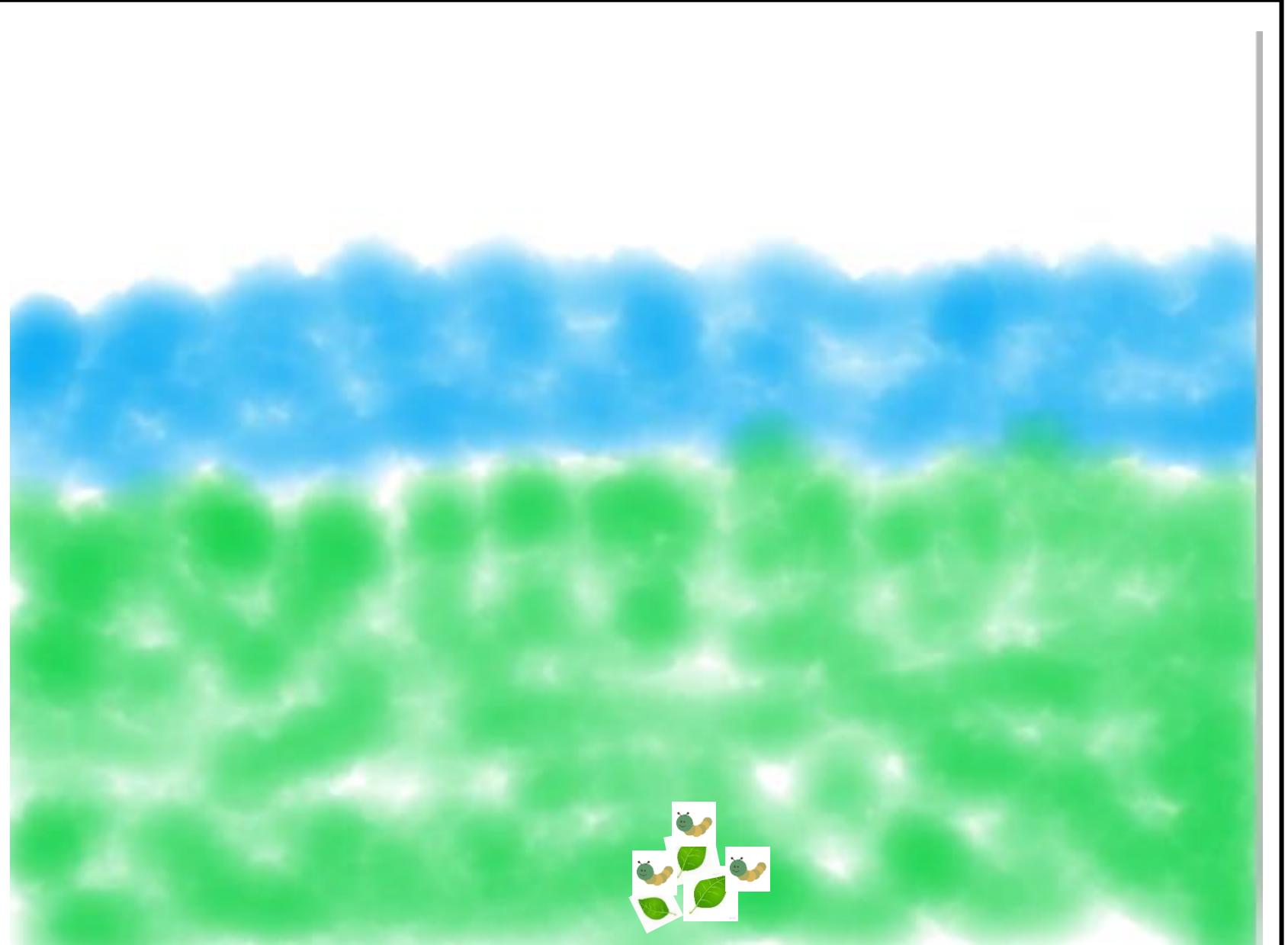
じかせ わわ

どんなんじよつかよんどうじ

め

おでかくじよんじよん

おむしばざわざわのねねあわわ。



おでかくじよんじよん

め
だれがなにをいったのか、よんじ「う

○どうじょうじんぶつ（じぶんではなすもの）

あおむし いつぴきめ
あおむし にひきめ
あおむし さんびきめ
おおきな木

○だれがいったのかよんじ「う

- ① 「だめだめ。」の木は、ぼくの木。
ぼくのはっぱ。」
- ② 「この木は、わたしの木。
だから、はっぱも、わたしのはっぱ。」
- ③ 「そんな」と、しるものか。」

木 「うるさいぞ。」「みんな、もっとうえまでのぼって、そのせかいを見て」らん。」

- ① 「ぼくら、こんなにひろいところにいたんだね。」「そもそも、こんなにひろいんだね。」「あのひかつているところは、なんだろう。」
- ② 「きれいだね。からだがちようになかわつたら、**あそこまで**とんでみたいな。
わたくしも、あそこまでとんでみたい。」「それなら、みんなでいこう。」「
- ③ 「わたくしも、みんなでいこう。」「

○じょうずによめるようにれんしゅうしよう

め

だれがなにをしたのか、よんでもいこつ

○ふらじょうじんぶつ（じぶんではなすもの）

あおむし いつひきめ
あおむし にひきぬ
あおむし さんひきめ
おおきな木

○だれがぶらじょうじんぶつ（じぶんではなすもの）

①まいにち木のはをたべてまつていました

②むしゃむしゃむしゃ

③もりもりもりもり

木ぐりとまれて

めをまるくしました

せのびをしました

くんねりくんねりおうじされました

木 もりあります

○じょうずによめるよじでいます

③	②	①	③	②	①	③	②	①
---	---	---	---	---	---	---	---	---

やくそく

にかぜ わい

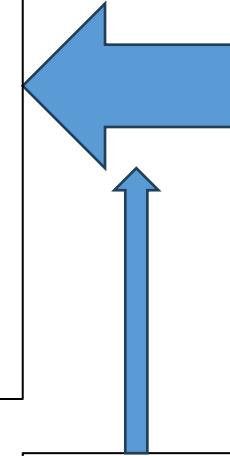
め

やくそくについて「かんがえた」とをまつぴょう
しようと

せんざめのあおむしが

(そとのせかい) をみて

なかよくなむおはなし



かんがえた」と

わたしは(〇〇が)〇〇とおもいました。
それは、〇〇だからです。

1年 光村 「くじらぐも」

付けたい力
どこで何をして何を言ったのか読む

くじらぐも

学習計画表八時間

付けたい力

どこで何をして何を
言ったのか読む

初発の感想・学習課題

内容をとらえる

挿絵を手掛かりに想像
を広げる

「」の部分の読み方
を話し合う

読んで想像したことを探
え合う



8・7

6

5

4

3

2

1

くじらぐもー

なかがわ りえー

め

おはなしをよんと、かんそりをいねつ

○いろいろなかたちのくもをみた」とがありますか?

さかのかたち

とりのかたち

かいじゅうのかたち

「くじらぐも」 つどんなかたち?

○よんでおもつたこと

おもしろかった

くじらぐもがはなすのがおもしろかった

みんながくもにのったところがすこかつた

○「くじらぐも」 でみてみましょう

みんなのかだい

「くじらぐも」と「子どもたち」がどんなこと

をしたのかよみとりましょう

○かんじとカタカナのれんしゅう

女 男

青 天

手

センチ

ジャングルジム

べじゅりぐもん

なかがわ リエー

め
おはなしをよんぐ、いいなとおもつたと「」るをおはなししよう

○いいなとおもつたと「」るをみつけてしまふ

す「」い

おもしろかった
たのしそう

じぶんもやつてみたい

○○○(さんまる)ペピーチいってみよう

1 わたしは○○○のところがいいなとおもいました。
2 りゆうは○○したとき○○とおもつたからです。
3 だから○○のところがいいなとおもいました。

○「 」できにいつたと「」るをみつけよう

「一、二、三、四。」べじゅりも、たいせうをはじめました。

「ここくおいでよう。」べじゅりもわいいました。

「もっととかく。もっととかく。」と、べじゅらがおうえんしました

「天までとどけ、一、二、三。」

○かんじとカタカナのれんしゅう (二かいめ)

男

天

手

女
センチ

ジャングルジム

べじゅりぐもみ

なかがわ りえこ

め

おはなしのないようをかくにんしよう

おはなしを三つにわけてみましょう

はじめ

四じかんめ

「ねん」「くみの子どもたち
たいそうをしていたら
空に大きな
（ ）があらわれました。

なか

みんなは、手をつないで、
まるいわになつて
「とジャンプしました。
手をつないだまま（ ）の
（ ）にのつていきました。
くじゅは、青い青い空のなかを
（ ）
すすんでいきました。

おわり

（ ）をして、
くじゅは
（ ）のうえに
みんなをおろしてかえつていきました。

ぐじりぐも4・5

なかがわ りえこ

おはなしをよんでも、ぐじりぐもと子どものうすをかんがえましょう。

め

ぐじりぐもがなにをしたかみつけよう（えもみながら）

子ども
ぐじりぐも

●「ねんくみの
子どもたちがたい
そうをしていた。
●うんどうじょう
をまわった
●ふえのあいすで
とまつた
●まれみぎ
○空でまわれみぎ
●「！」くおいで
よつ。
●「天までとどけ、
一、二、三。」
●「天までとどけ、
一、二、三。」
●「うたをうたう

●「ねんくみの
子どもたちがたい
そうをしていた。
●うんどうじょう
をまわった
●ふえのあいすで
とまつた
●まれみぎ
○空でまわれみぎ
●「！」くおいで
よつ。
●「天までとどけ、
一、二、三。」
●「天までとどけ、
一、二、三。」
●「うたをうたう

なか
●「天までとどけ、
一、二、三。」
●「天までとどけ、
一、二、三。」
●「うたをうたう

おわり

●「せようなり。」
みんなで手をぶる

○まれみぎ
○ジャングルジムに
おろす
○「せようなり。」
青い壁にかかる

○まれみぎ
○「まれみぎ
うち
うみ
まち

くじらぐも6

なかがわ りえこ

め
おはなしをよんと、「」のよみかたをかん
がえましよう。

○なかのぶんをみんなでよもう

じのぶんやく
子どもやく
くじらやく

みんなは、手をつないで、まるいわになると、
「天までどどけ、一、二、三。」
とジャンプしました。でも、とんだのはやつと
三十センチぐらいです。
「もつとたかく。もつとたかく。
と、くじらがおうえんしました。
「天までどどけ、一、二、三。」
こんどは、五十センチぐらいとべました。
「もつとたかく。もつとたかく。
と、くじらがおうえんしました。
「天までどどけ、一、二、三。」

○おくせんタイム

もつとじょうずによむには、どうすればいいかな

○おうえんしましたとかいてあるから、おうえん
するように

○「かいめは、五十センチぐらいとべているから、
もつと大きな」えでいう

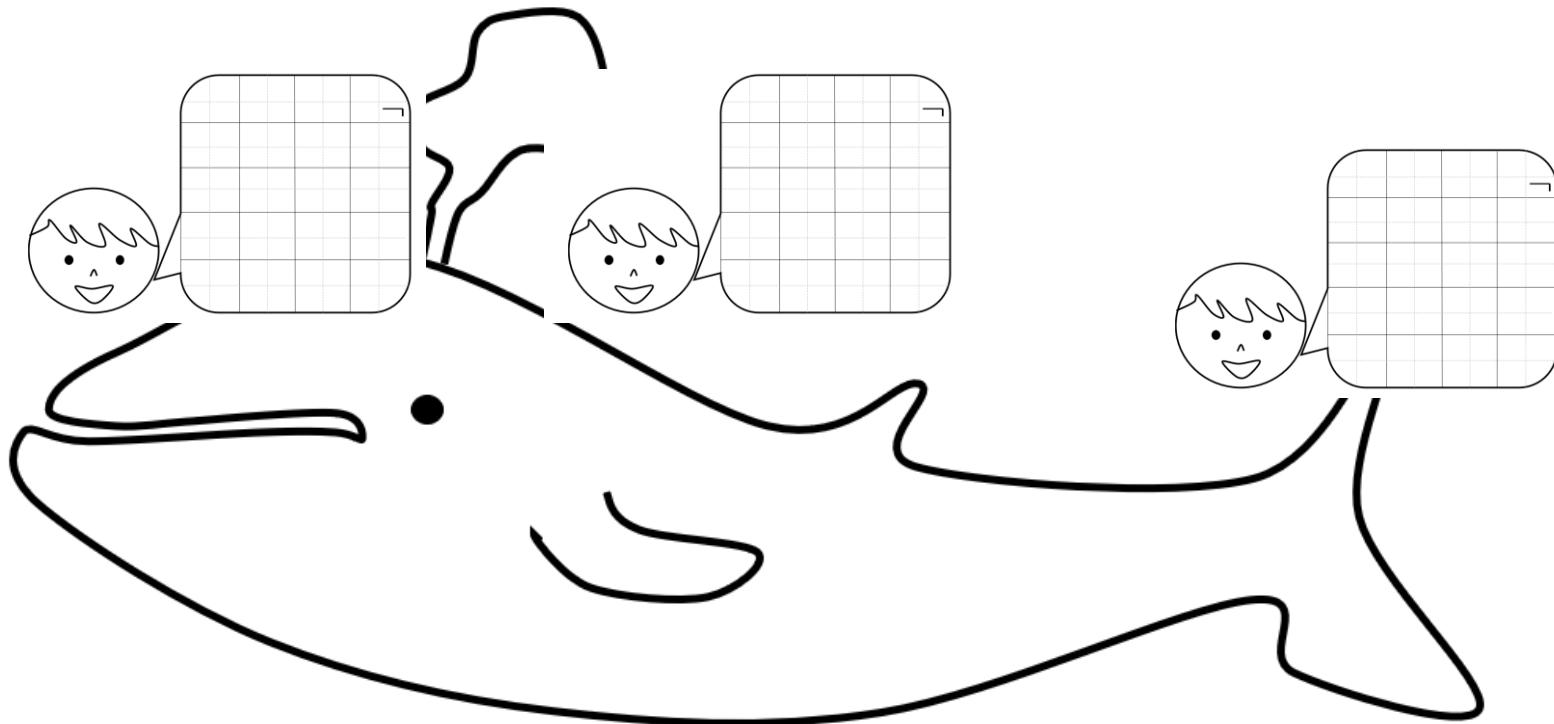
○「かいめは、いちばん大きな」えでいう

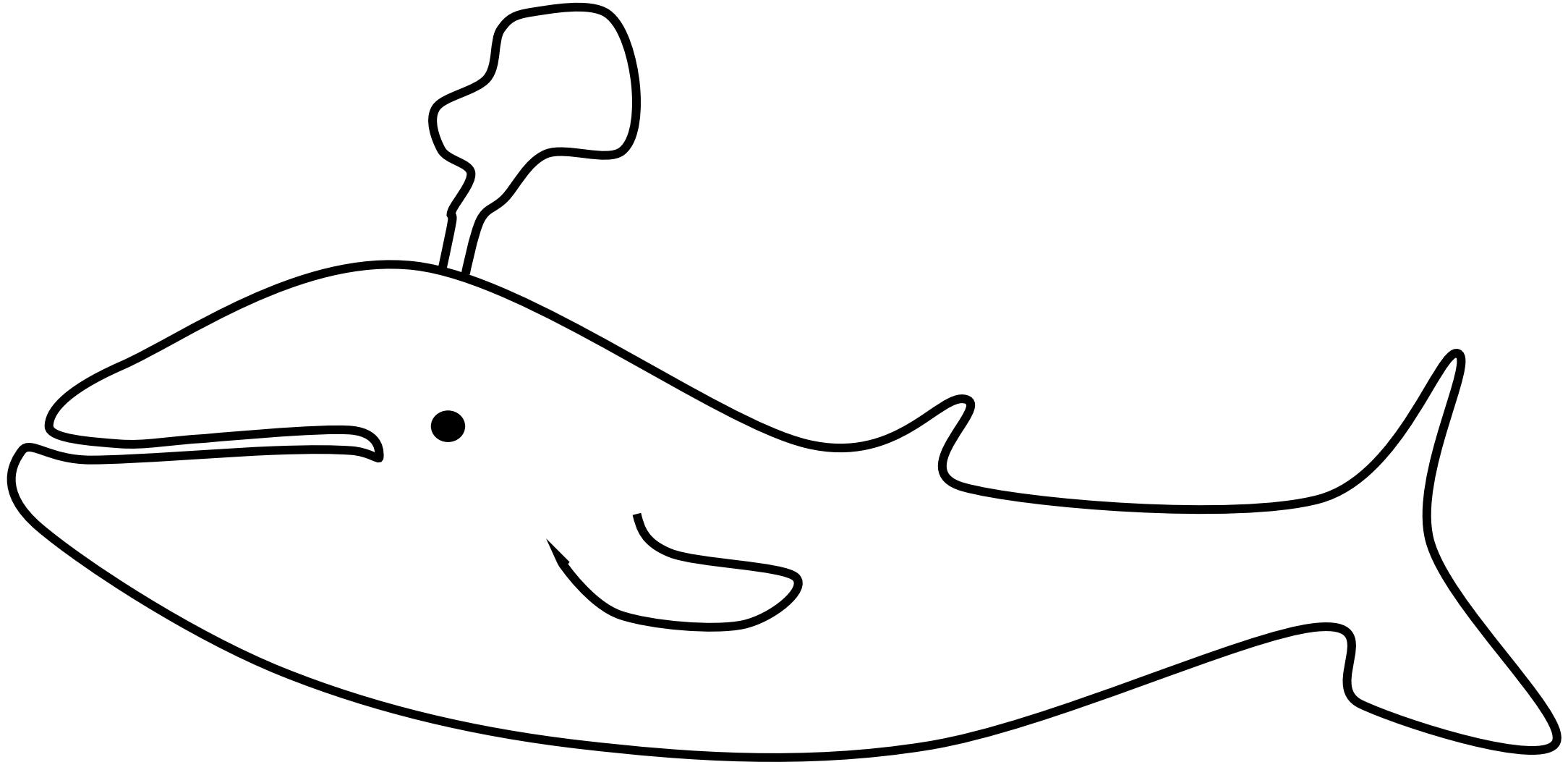
べじりごも7・8

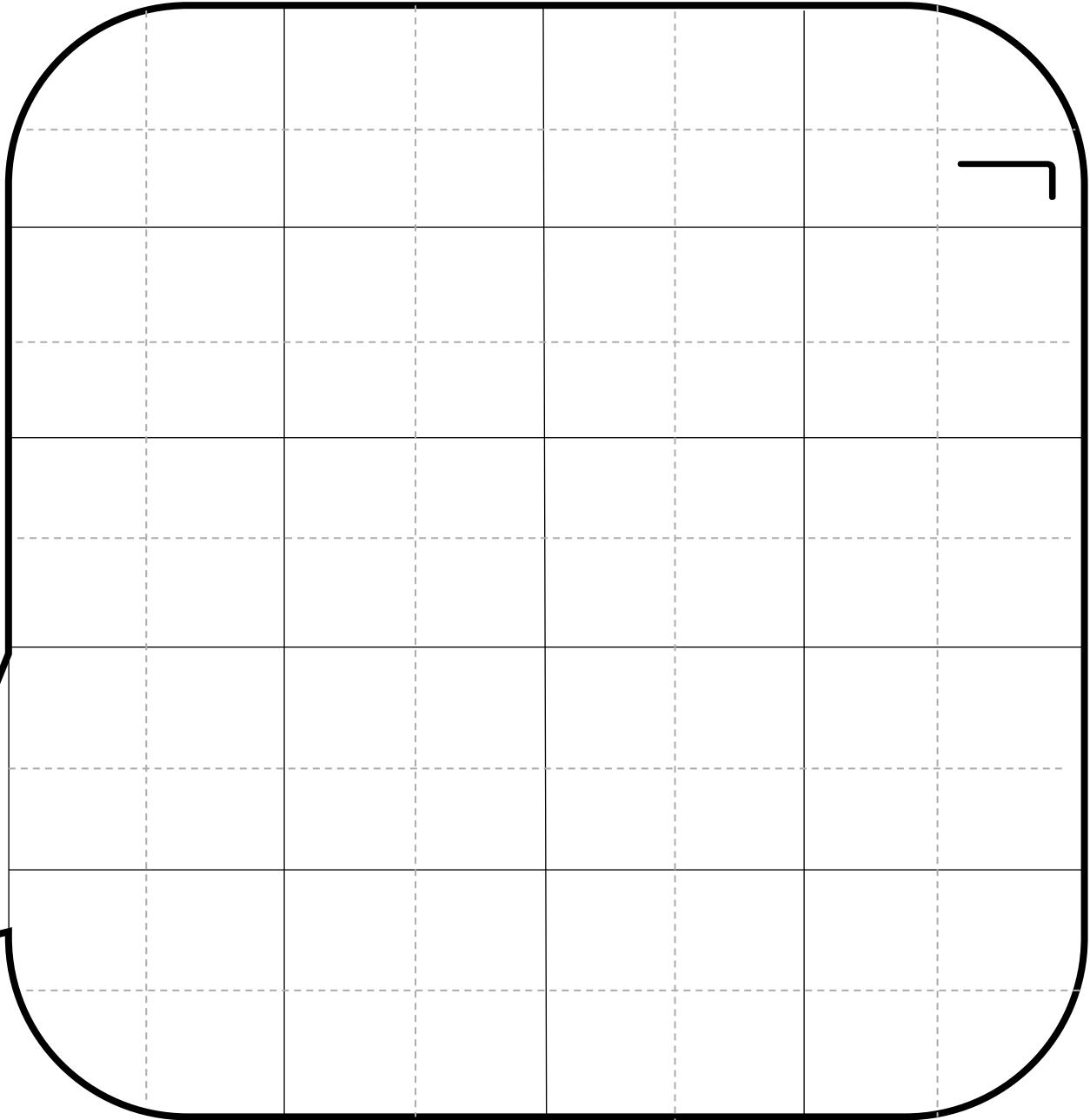
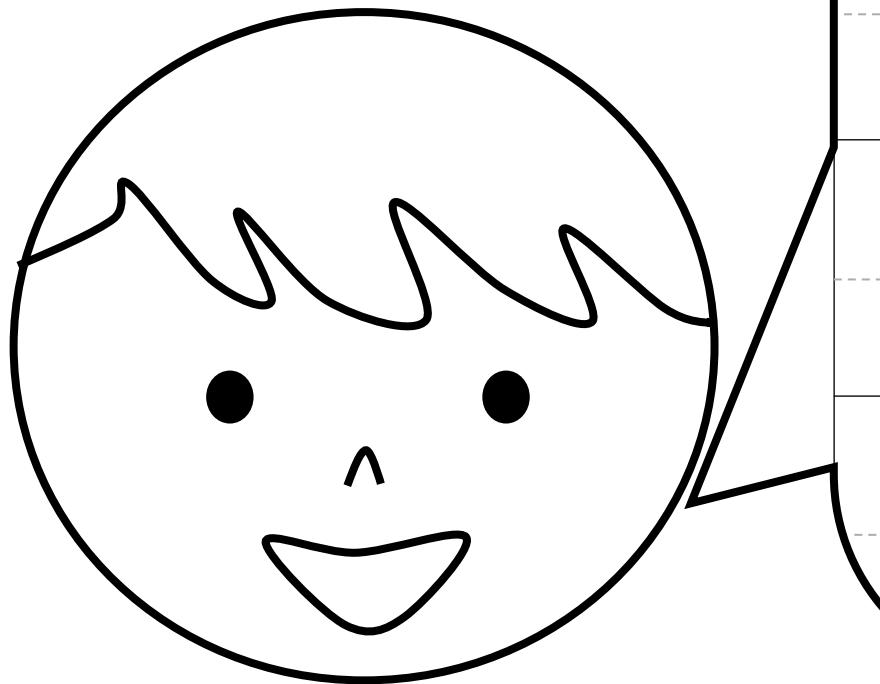
なかがわ
りえこ

め

じぶんをべじりごもにせてもよ。







2年 光村

「お手紙」

付けたい力

登場人物と自分とくらべて読む

人物がしたことを表す言葉から様子を思い
うかべる

お手紙

学習計画表十二時間

付けたい力

登場人物と自分とくらべて読む

初発の感想・学習課題

場面の整理

第一場面

第二場面

第三場面

第四場面

第五場面

始めと終わりの2人の
気持ちを比べる

るペー。サートげきをつく



1 2 1 1 • 1 0 • 9 8 7 6 5 4 3 2 1

「〇〇読み」とは

「〇〇」のところに、自分が考えたタイトルを付けて読む。



「だれも、ぼくに お手紙なん
かくれたことがないんだ。毎
日、ぼくのゆうびんうけは、
空っぽさ。お手紙をまつてい
るときが かなしいのは、その
ためなのさ。」

かなしい 読み

そのわけ
(○○△○○と書いてあるからです)

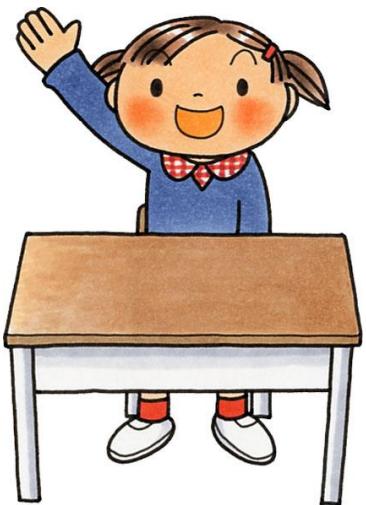
だれも、ぼくにお手紙な
んかくれたことがないと
書いてあるから

はつひょうのかたち

わたし（ぼく）は○○○読みにしました。

理由は、○ページの○○○に○○と書いてあるからです。そこから○○の○○きもちが分かるからです。

読みます。



お手紙1

め

お話を読んで、かんそうをいおつ

どっちががまくんで
どっちがかえるくん
でしよう？

かんそう



いいおはなし

13

10

6

5

4

3

3

2

かえるくんってやさしいとおもいました。
がまくんお手紙を書いてもらってとてもよかったです。
かたつむりお手紙をわたすの4日かんかかったんだ。
お手紙を一回ももらってないから4日もげんかんでまってすごい
がまくんおもしろい
がまくんがお手紙を1回ももらってないところがかわいそうだったです。
ガマガエルくんは、お手紙がほしかったんだね
お手紙の文しようをゆってよかったですのかなあ？
がまくんは、お手紙をもらったことないから、かえるくんは、いそぎでかいたんだね

ペー プ サー ト げき を し て み よう

「〇〇読み」とは

「〇〇」のところに、自分で考えたタイトルを付けて読む。



4日待って
よかったです
の？

内容を言つ
てよかったです
の？

がまくんは
何がうれし
かったの？

かえるく
んは どうして
やさしい
の？

かえるく
んは 何が
かなしい
の？

がまくんは
何がかな
いの？

お手紙2

め
お話を場面「」とに分けて見よつ

といじょう人物はだれ？

がまくん

かえるくん

かたつむりくん

「〇〇した〇〇のへん」 どもとめじこ「

五場面

① げんかんの前でお手紙をまつせど「」なくて
かなしいがまくん

② 家にかえつて、がまがえるくんに手紙を書く
かえるくん

③ がまくんの家に行つて、がまくんをお「」そ
うとするかえるくん

④ かえるくんからお手紙の「」とをきいて、か
んどうするがまくん

⑤ 四日たつて、かたつむりくんからお手紙を
もらつてよひ「」ぶがまくん

め
だい一場面を読みとろう

○いつ あせ? おひる?

○どい がまくんのいえのげんかん

○だれ がまくんとかえるくん

○どい」を読みたい?

「だれも、ぼくに お手紙なんか くれた
ことがないんだ。毎日、ぼくのゆうびんう
けは、空っぽさ。お手紙を まつていると
きが かなしいのは、そのためなのさ。」

○○読みをしよう



だれもお手紙なんかくれ
なくてす」くかなしい

読み

どうして? (○○)と書いてあるからです)

だれも、ぼくにお手紙なんかくれたことが
ないとかいてあるから

○かえるくんのきもち
かなしいきもち

どうして?

「ふたりともかなしい気分で」しおりにして
いました。」と書いてある

○がまくん・かえるくん日記を書いた

め
だい一場面を読みとる

○いつ がまくんと「しをおろしていたとき

○ど」 かえるくんの「え

○だれ かえるくん

○かえるくんのしたこと

大いそぎで家へ帰った
えんぴつと紙を見つけた

紙に何か書いた
紙をふうとうに入れた

ふうとうに「がまがえるくんく」と書いた

「おねがいだけど、この手紙をがま
くんの家へもっていって、ゆうび
んうけに入れてくれないかい。」

○○読みをしよう



はやくがまくんへ手紙をとどけて

読み

ビハシテ（〇〇〇）〇〇〇と書いてあるからです）

「大きいきで」「家からとび出した」
と書いてあるから

○「すぐやるぜ」も○○読みをしてしよう
じしんたっぷり・ぼくにまかせて 読み

○がまくん・かえるくん日記を書こう

め
だい三場面を読みとみつ

○いつ お昼（お昼ねをしている）

○ど」 がまくんの家

○だれ がまくん
かえるくん

○回じ」とば「がまくん」

「がまくん。」 お手紙くるかもね読み

「いやだよ。」

「ぼく、もうまつているの、あきあき
したよ。」

「がまくん。」 お手紙くるよ読み

「そんなこと、あるものかい。」

「ぼくにお手紙をくれる人なんている
とは思えないよ。」

だれもくれない読み

「でもね、がまくん。」 おしえたいな読み

「ばかりしいこと言うなよ。」

「今まで、だれも、お手紙くれなかっ
たんだぜ。きょうだって同じだらう
よ。」

ばかりしい読み

「がまくん。」 をど「いつに読みますか。

がまくんのきもかせど「いつに読みますか。

がまくん・かえるくん日記を書いつ

お手紙⑥

アーノルド・ノーベル

め
だい四場面のがまくんとかえるくんのきもかを読
もう

○いつ
○どこ
○だれ
　　がまくんの家
　　がまくん・かえるくん

ペーパーサーでやつてみよう
どり」とばをくわして読みたい?

「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」

○○読みをしよう

とつてもうれしい
手紙をもらつてうれしい
今まで一ぱんうれしい

読み

どりして? (○○○○○○と書いてあるからです)

手紙をもらつたことがないから
かなしい時間といつていたから

先生が考えた手紙でもいいかな?

がまくん
こんにちは。
げんきですか。
ぼくは元気です。
またあそぼうね。
かえる

かえるくんのお手紙
「親愛なる がまがえるくん。ぼくは、きみが
ぼくの親友であることを、うれしく思つてい
ます。きみの親友、かえる。」

親友といふ」とばがうれしい

○がまくん・かえるくん日記を書こう

め
だい五場面のがまくんとかえるくんのきもかを読
もう

○いつ 四日たつて
○どこ がまくんの家
○だれ がまくん・かえるくん

四日たつて、かたつむりくんが、がまくん
の家につきました。

どうして、かたつむりはねつくりあるくから

「すぐやるぜ。」

かえるくんはどうしてねつくりなかつたのかな?

がまくんがとてもよろこびでいたから

とりとか、うさぎとかだつたらはやくついたかも。
四日もまつのはいやだつたんじやない?

ふたりとも、とてもしあわせな氣もちで、そこには
すわつていました。と書いてある。

がまくん・かえるくんは、まつているあいだもしあ
わせだつた。

○がまくん・かえるくん日記を書け

がまくんとかえるくんのきもちを考えよう

め

がまくんは
何がかなし
いの？

五場面

四場面

三場面

二場面

一場面

何がうれし
かったの？

しあわせ

うれしい

うれしい

すねてし
まつた

よろこば
せたい

い いそいで
どけた

なんとか
したい

かなしい

かなしい

がまくん

かえる
くん

4日待ってよ
かったの？

内容を言つて
よかったの？

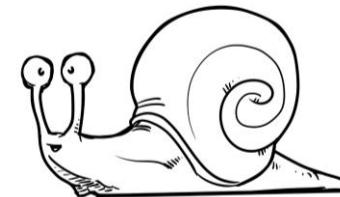
かえるくんは
どうしてやさ
しいの？

かえるくん
は何がかな
しいの？

め
ペーパーカードがれをつけておこなう

ペーパーカードがれをつけておこなう

どの場面をしますか



どうしてがれですか



3年 光村

「ちいちゃんのかげおくり」

- 文の特徴

3人称限定視点 中心人物の心情の変化

同じ様子があり、比較できる

最後、時が大きく変わる

付けたい力

場面をくらべながら読み、感じたことをまとめる

動作を表す言葉・様子を表す言葉

場面の様子や出来事をくらべて読む

気持ちの書き方

中心人物の気持ちを直接書いている言葉は少ない
→気持ちはどうだったのか
→言葉「おうちのとこ。」から分かる気持ち

場面（言葉）の対比

かけ送りをする場面が第1場面と第4場面にある→何が違うのか
・ほしいいを少し食べました（2回）
・うなずきました（2回）
→何が違うのか

第4場面の書き方

→ふってくる
→「お母ちゃん」のよび方
→空色の花ばたけの話
→ちいちゃん自身の言葉が多い
→亡くなったのはどこか

時間の変化

第5場面に何十年後の世界を描いている
→なぜ後話を入れたのか
→かけおくりをした場所が公園
→「きらきら」の言葉

ちいちゃんのかげおくり

学習計画表十時間

付けたい力

登場人物の様子や行動、
気持ちや性格を面をくら
べながら読む

初発の感想・学習課題

場面の内容を読みとる

ちいちゃんの気持ちを
考える

第二場面と三場面のちい
ちゃんの気持ちを考える

第一場面と第四場面を
くらべる

ちいちゃんの思いを考え
る

第五場面の効果について
考える

ちいちゃんリーフレット
を作る



10・9

8

7

6

5

4

3

2

1

ちいちゃんのかげおくりーあまんきみー

全文を読み学習の見通しを持つ

題名から・・・かげおくりって何?

○はじめの感想

感想

かなしい・・・さじー死んでしまった
かわいそう・・・ひとりぼっちになつて
せんそうはいやだ・・ばくだんなどでい
ろんなものをうばう
どーがいちばんかなしいの?

五 それから何十年、	四 明るい光が顔に当たつて	三 朝になりました	二 夏のはじめのある夜	一 「かげおくり」つて
				

「ちいちゃんのかげおくり」はどうしてかなしい
のか読み取つていこ

○新出漢字と難語句

先祖 記念写真 しょういだん
くうしゅうけいほう はす向かい
さつのう ほしい ぼうくう「」つ

ちいちゃんのかげおくり／＼おまんきみこ

め 場面の内容を読みとろう

中心人物はだれ？ ちいちゃん

「〇〇したちいちゃん」でまとめてじーう

五場面

出征する前の日、家族みんなでかげおくりをするちいちゃん

夏のはじめのある夜、くうしゅうでお兄ちゃんとお母ちゃんとはぐれて、ひとりぼっちになつたちいちゃん

朝、やけ落ちた家にもどつて、ぼうくうごうで、二日お母ちゃんとお兄ちゃんをまつたちいちゃん

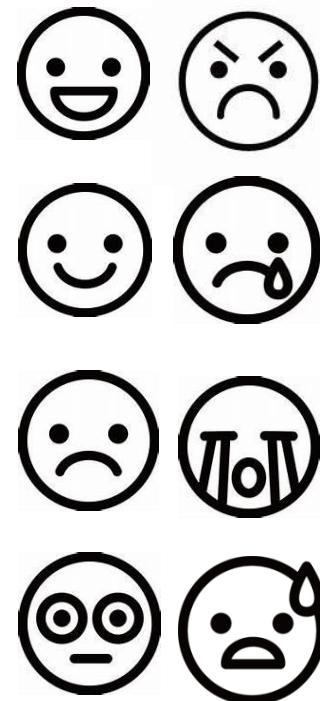
明るい光が顔に当たつて、お父さんたちとかげおくりをして、わらいながら死んでいくちいちゃん

何十年たつて、かげおくりをした場所で、きらきらわらい声を上げて遊んでいる子どもたち

ちいちゃんのかげおへこう　ねまこせなー

め
ちいちゃんの気持ちを顔で表そう。

ちいちゃんの気持ちを顔で表そう。



「すいすい。」

「お母ちゃん。」受けました。

ちいちゃんは、ひとりぼっちになりました。

なくのをさうひました。

した。
深くうなずきました。

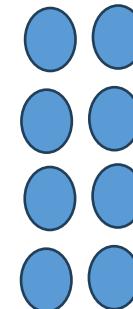
また深くうなずきました。

「きっと帰ってくわよ。」

読んでいて
一番悲しい場面に付けた人



さうひして悲しいの?



どっちもわらっている…同じ?

五

四

三

二

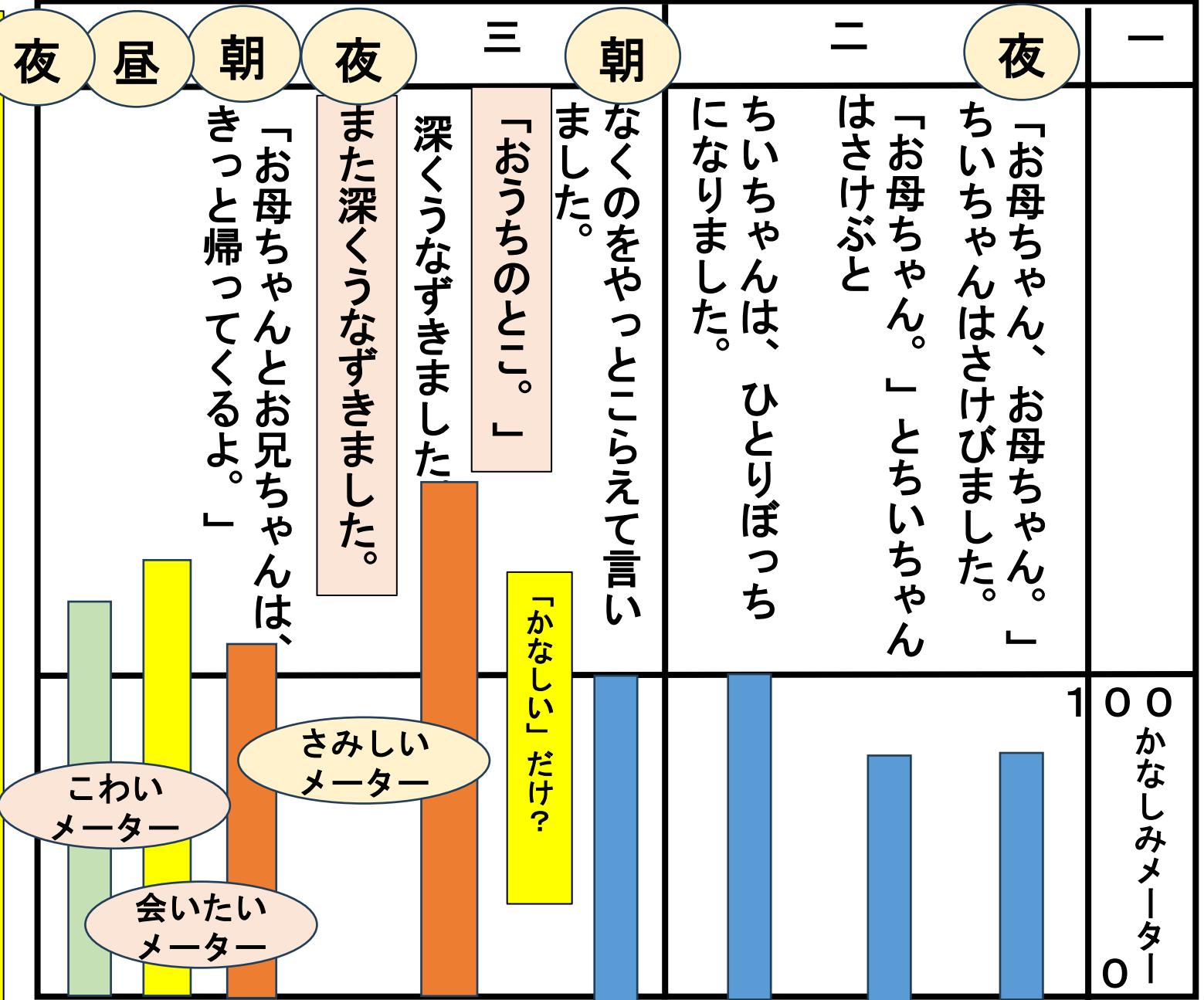
-

ちいちゃんのかげおくり 4

あまんきみー

め
ちいちゃんの気持ちを読みとひつ

ちいちゃんの気持ちが分かる言葉をさがそ



それがいい

お母さんたちが帰つてくると思つたから

どの言葉で分
かりますか？

ま

ちいちゃんは、かなしく、さみしかつたけど
お母さんたちが必ず帰るとしんじていた。

かりますか？

ちじちゃんのかげおぐり あまんきみ

め

第一場面と第四場面をくらべよう。

第四場面はどうして悲しいの？

家族といっしょ

白い四つのかげぼうしが、すうつと
空に上がる
「すううい。」

一

悲しいしようを見つけよう

どっちもわらつ
ている…同じ？

だれもいない

声が青い空からふつてきた。
お父さん、お母さん、お兄ちゃんは亡くなっている？

ふりふりある足をふみしめる → よわっている

たつた一つのかげぼうしを見つめる
くつきりと白いかげが四つ

「お父ちゃん。」 → やつと会えた

体がすうっとすきとおつて壁に
すいこまれていく

空色の花畠の中 → 空（天国？）へ

だから悲しい

四



本当は迷つづく前の前でおれて亡くなる

「おなかがすいて軽くなつたから、
ういたのね。」 → 死んでしまうことがわからない

ちいちゃんのかげおくり 6 あまんきみ

め
ちいちゃんの思いを考えよう。

お父さんと、お母さんとお兄ちゃんは物語のどのあたりで亡くなっていると思いつ?

「体の弱いお父さんまで」

いくさがはげしくなつて、町の空にばくだんをつんだひこうきが、とんでくるようになりました。いくさで負けているからとんできた。

「川の方ににげるんだ。」
あとでお母さん、お兄ちゃんは橋の下にいなかつた。

たくさんの人においぬかれたり、ぶつかつたり——ちいちゃんはお母さんとはぐれました——「」いろいろなことがあったのでは。お母さんとお兄ちゃんはまにあわなかつたかも。

ひとりぼっちになりました。
お母さんたちが亡くなつて本当にひとりぼっちという意味もあるかも。

次の日→家に帰つてこない

朝から一人で夜までまつてからぼうくうくうでね

次の日→家に帰つてこない

朝から昼、夜までまつてからぼうくうくうでね

ちいちゃんはいつまでまつつもりだつたの?

「きっと帰つてくるよ。」

ほしいいを少し食べる

ほしいいを少しがじる
の「やうとしている

お母さん
お兄ちゃん

お父さん

五

四

三

二

一

声が青い空からふつてきた。
お父さん、お母さん、お兄ちゃんは亡くなつている?

ここがお兄ちゃんとあたしのへや

ちいちゃんのかげおくり／あまんきみ

め
ちいちゃんを助けよう。

物語の中でもちいちゃんを助けるチャンスはなかったのだろうか？

A.I.にも聞いてみよう
もつと早くひなんできていたら
ひなん場所がはつきりわかつていたら
大人が子どもを守る体せいができるいたら
戦争が起きなかつたら

助けるチャンスをさがして線を引いていこう

お母さんはお兄ちゃんをおんぶしました。

知らないおじさんがいました。
「お母ちゃんは、後から来るよ。」

おじさんは、下ろしてくれました。

「おうちのとこ。」

おばさんは、ちいちゃんの手をつないでくれました。

「お母ちゃんたち、ここに帰つてくるの。

深くうなずきました。

「じゃあ、だいじょうぶね。あのね、おばちゃんは、今からおばちゃんのお父さんの家に行くからね。」

また深くうなずきました。

ちいちゃんはおじさんおばさんに感謝してるのでしたのかな。

きっと帰つてくるとしんじてゐるから。

おばさんについていけよ
かった

ちいちゃんのかげおくりよ あまんきみこ

第五場面はなぜあるのか考えよう

め

第五場面はありますか？

いる

ちいちゃんの「とをずっとおぼえていてほしい

今は平和といつゝとをいいたいから

いらぬ

ちいちゃんはもついないから

かなしいままおわれるから

第一～四場面と同じ言葉はないかな

ないと
かわい
そうな
話

ちいちゃんがひとりでかげおくりをした
小さな ちいちゃん

青い空の下

さうきり 子どもたち

わらい声

きらきらわらう→平和

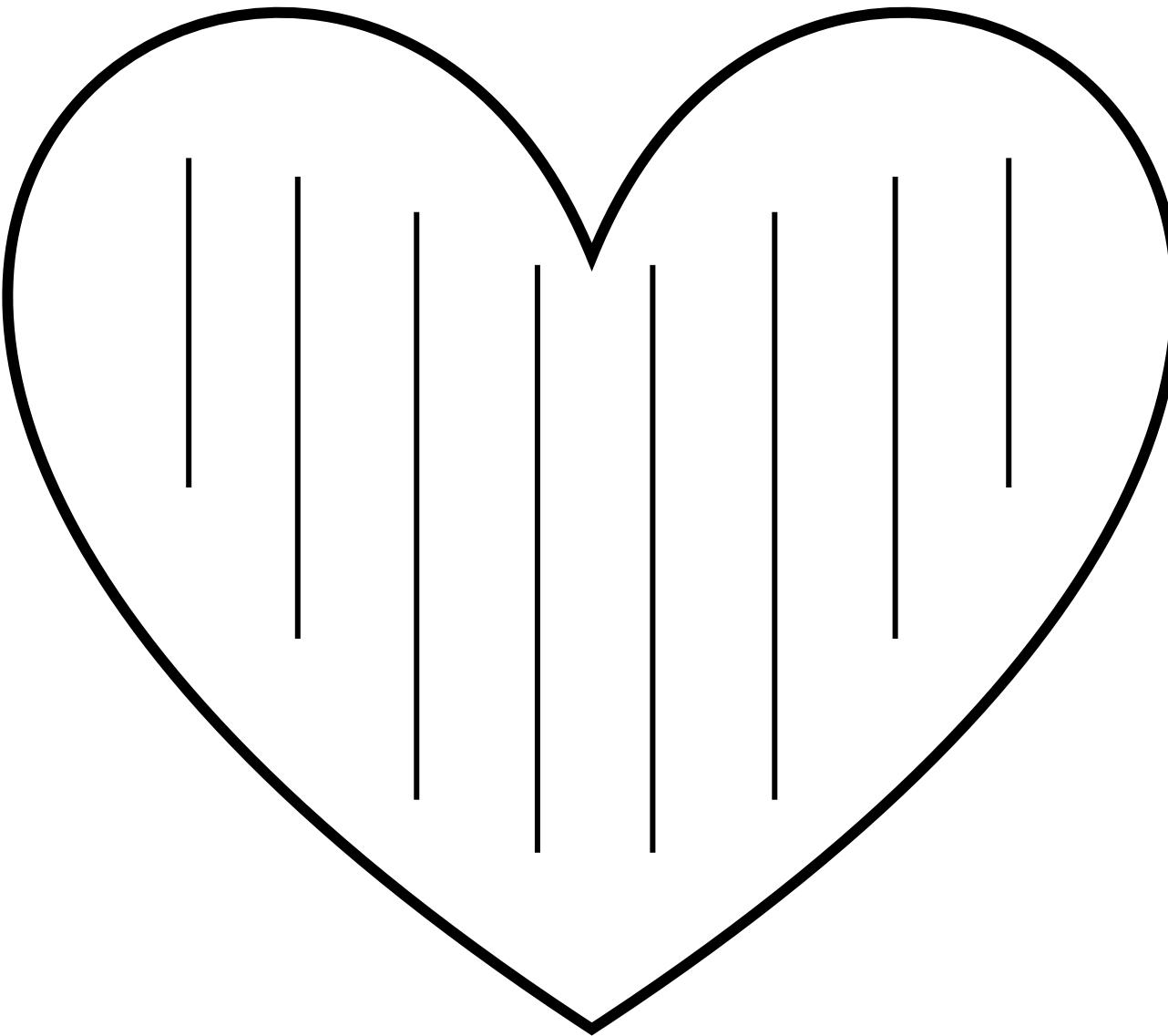
同じ言葉
でもちが
う意味

笑い声が聞こえる場所
平和の中であつてほしい

伝えたいこと

め

ちいちゃんハートカードをつくろう



ごんぎつね

学習計画表十二時間

付けたい力

人物の気持ちの変化

1 2・1 1・10 9 8 6 5・4 3 2 1

ごんまきものを作る



化

兵十のごんに対する変

化

ごんと兵十の気持ちの変

にうかぶ表現

情景や場面の様子が目

・一～五場面のごん

・六場面の兵十

ごんと兵十の気持ちを読む

ごんと兵十について

場面の出来事の整理

初発の感想・学習課題

主題につながる授業構成・発問の工夫について（実践）

初発の感想

お母さんが死んだのはごんせいなのか。
ごんのつぐないはいいことだ。
ごんはやさしいきつねだった。
ごんはくりや松たけを持って行ったのに。
兵十がごんをうったのはうらみから？
ごんは兵十を友だちだと思っていたのでは？
うたれたごんがかわいそう。

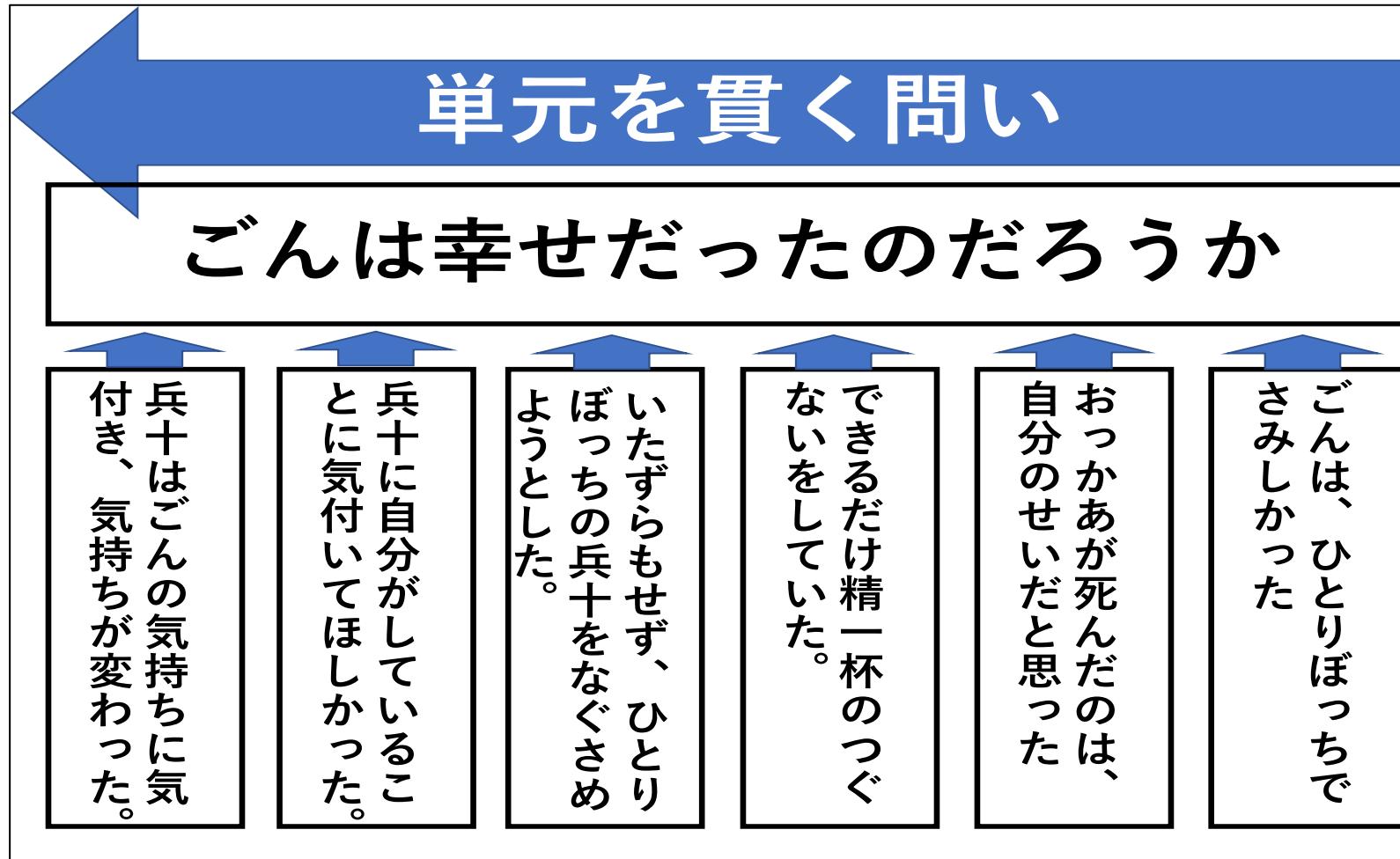
} ごんの罪
} ごんのつぐ
ない
} ごんの兵
十に対す
る気持ち

単元を貫く問い合わせ



ごんは幸せだったのだろうか？

主題につながる授業構成・発問の工夫について（実践）



め
全文を読み学習の見通しを持つ

題名から・・・きつねの話

○はじめの感想

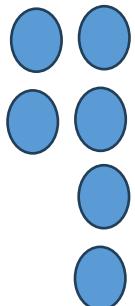
うたれてかわいそう
お母さんが死んだのは「んのせい?
いきなりうたなくともいいのに
ごんはつぐないをつづけてえらい
ごんはやさしいきつねだ
ごんは兵十と友達になりたかったのかな



「ごんは幸せだった



幸せではない



「ごんは幸せだったのだ」が読み取つていい「ご

○新出漢字と難語句

外れ つつみ もまれる はりきりあみ きす
じれつたい ぬすつと 家内 かみをすく のぼり
よそいき てぬぐい かまど そう列 かみしも
いはい ささげる しおれる とこにつく とぐ
いせいのいい つぐない 木魚 しょうじ ねんぶつ
しわざ あわれ めぐむ 引き合つ なわをなう
ひなわじゅう 土間

め 場面の内容を読みとろう

とき 昔 おとの様
場所 中山
人物 ごんぎつね

「（した）「ん」でまとめよう

ある秋、兵十がとつていた魚やうなぎをいたずらですててしまう「ん

十日ほどたつて、兵十のおつかあが死んだことを知つて、いたずらを反省する「ん

うなぎのつぐないに、いわしをなげこむがしつぱいして、くりやまつたけを毎日兵十の家に持つていぐ「ん

月夜のいいばんに、お念佛に行く兵十と加助についていく「ん

お念佛の帰り道、加助からくりやまつたけを持つてくるのは神様だと聞かされる「ん

明くる日、兵十の家にくりやまつたけを持って行つて兵十にうたれる「ん

山場

後ばなし

後ばなしがない

め

「こんと兵十について読みとろう

「こん

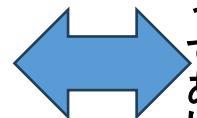
ひとりぼっちの小ぎつね→おとな「わし」
しだのいっぱいしげつた森の中あなをほつ
てすんでいた
いたずらばかりしていた
夜でも昼でも辺りの村に出てきて
菜種がらに火を付ける

とんがらしをむしりとつていく

「こんは毎日が楽しかったのかな

楽しくない・・・やみしい あなの中 ひとりぼっち

※いたずら…おもしろがってあいてが「まるような」とをする」と



兵十

ぼろぼろの黒い着物 → まずしい
顔の横つちょうにまるいはぎの葉
はりきりといつあみをゆすぶつていた

母親がなくなつてひとりぼっち

おつかあが死んだのは「こんが悪いのかな?

うなぎをしてた → すてなかつたら?
うなぎをたべたいと言つていたにちがない
→ 「こんの考え方で言つたかどうか分からぬ

村人 生活の大切な物
だいなしに ←
はらがたつ

ふつうのいた
ずらではない

め

ごんはどんな気持ちについて読みとろう

ある秋、兵十がとつて
いた魚やうなぎをいた
すらですてしまふご
ん

十日ほどたつて、兵十
のおつかあが死んだこ
とを知つて、いたずら
を反省するごん

うなぎのつぐないに、
いわしをなげこむがし
っぱいして、くりやま
つたけを毎日兵十の家
に持つていぐごん

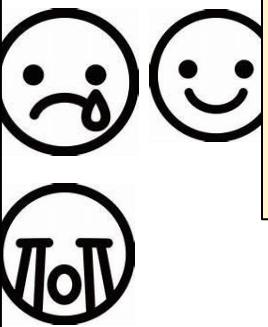
月夜のいいばんに、お
念佛に行く兵十と加助
についていくごん

からくりやまつたけを
持つてくるのは神様だ
と聞かされる

明くる日、兵十の家に
くりやまつたけを持つ
て行つて兵十にうたれ
るごん

おわかれでかなしい

気付いてもらえてよかつた



自分なのに

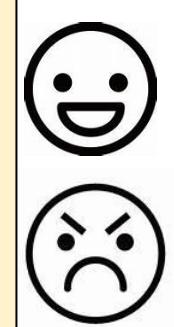
元気になつたかな

かわいそう

つぐないがしたい

自分のせいだ

いたずらがしたい



幸せメーター

?



六場面の兵十について読みとりう

め

兵十はどうで気持ちが変わったのだろうか？

兵十 「ん

物置でなわをなう

ふと顔を上げる

にくん
でいる

こないだうなぎをぬすみや
がつたあの「んきつねめが、
またいたずらをしにきたな。

「よう。」

戸口を出ようとする」

んを、ドンとつ。

兵十かけよる

うちの中を見る

土間にぐりが固めておいてある

「おや。」

びっくりして、「んに田を落
とす

「んおまえだったのか。」

分か
つた

分か
つて
ない

青いけむりが、まだ、つつ口
までの締め出でた。

火なわじゅうをぱたりと、取
り落とした。

づく
ぶつたまま、うな

め 情景や場面の書き方について読みとろう

情景が目にうかぶような表現はどうぞしようか

空はからつと晴れていて、もずの声がキンキンひびいていました。

一、二日あなの中しゃがんでいた。
気持ちも表している・・・やつた。ほつとした。

○どんなことが分かる？

いいお天気で、遠く向こうには、お城の屋根がわらが光っています。墓地には、ひがん花が、赤いきれのようさき続けていました。と、村の方から、カーン、カーンと、かねが鳴つてきました。そうしき出る合図です。

やがて、白い着物を着たそれつの者たちがやって来るのが、ちらちら見え始めました。話し声も近くになりました。それつは、墓地へ入つてきました。そうれつは、墓地へ入つてきました。人々が通つたあとには、人々が通つたあとには、ひがん花がふみ折られていきました。

月のいいばんでした。こんばぶらぶら遊びに出かけました。中山様のお城の下を通つて、少しく行くと、細い道の向こうから、だれかが来るようです。話し声が聞こえきます。チンチロリン、チンチロリンと、マツムシが鳴いています。

青いけむりが、まだつづ口から縋り出していました。

「ふきつけ」

新見南吉

め

「んの思いについて考え方

「んと兵十とのきよりから考える

「んのつぐないの方法から考える

「んのゆめ（のぞんでいたこと）から考える

調べたことを交流しよう

め

ごんと兵十とのきよりから考える

兵十　ごん

見つからないように、
草の深い所へ歩みよつて
ほらあなたの近くのはんの
木の下でふり返つてみま
した。

村の墓地の六地蔵のかけ
からひあがつて見る
あの中で考える

物置の後ろ
うら口から投げこむ
坂の上でふり返る
うら口
物置の方へ回る

道のかたがわにかくれる
二人の後をつける

兵十のかげぼうしを
ふみふみ行く

うら口から中に入る
戸口を出ようとする
土間にくりが固めて置
いてある

はじめて中に
どうして中に入
ったの？

どうして急に近
くなつたの？

かなり近い

にげられるきより

かなりはなれている

四

五

六

三

二

一

調べたことを交流しよう

め

「このつぐないの方法から考える

どうして一匹じゃないの？

それくらい悪いと
思っていた。
まず一つ、いいこと
をした

いわしを五、六匹きつか
み、うちの中へ投げこむ
山でくりをどつさり捨て
て、兵十のうちへ行く。
物置の入り口にくりを置く。

次の日も、その次の日も
くりを拾っては兵十のう
ちにもつて行く

その次の日には、松たけ
も二、三本持っていく

五

六

三

二

一

土間にくりが固めて置
いてある

どうして土間?
固めておいたの?

ついに固めたから
ていいに置きたか

調べたことを交流しよう

め

「このゆめ（のぞんでいたこと）から考える

いたずらばかり

十日ほどたつて、兵十
のおつかあが死んだこ
とを知つて、いたずら
を反省する「ん

うなぎのつぐないに、
いわしをなげこむがし
っぱいして、くりやま
つたけを毎日兵十の家
に持つていぐ「ん

月夜のいいばんに、お
念佛に行く兵十と加助
についていく「ん

お念佛の帰り道、加助
からくりやまつたけを
持つてくるのは神様だ
と聞かされる

明くる日、兵十の家に
くりやまつたけを持つ
て行つて兵十にうたれ
る「ん

さみしい・かまつて
ほしい

同じひとりぼっち
でも元気になつて
ほしい
自分のいたずらを
ゆるしてほしい

つぐないをよろこん
でほしい

神様じゃなくて自分
だときづいてほしい

「んきつね」

新見南吉

め
ごんは幸せだったのか考えよう

一兵十
+ごん

5
4
3
2
1
1
2
3
4
5

ぬ
つ
ね
と
さ
び
し
い

う
か
い

つ
ぐ
な
い

まったく気付いていない
神様だと思っている

ほ
か
つ
て

う
な
づ
く

六

五

四

三

二

一



六	五	四	三	二	一	め
おまえだつ	ねごんぎつ					
たののか						
うなづく						

「とおひねのつづき

幸せ

さい」「氣付いてもらえたから
ばたりと取り落としたから
ごんに兵十の声が聞こえたから

「んは幸せ?

幸せじ
やない

さい」「死んでしまうから
兵十もかわいそう



「あと、どうなるのでしょうか?

加助が来る・・・「あした見に来いよ。」

兵十が話す・・・「神様は「んだった。」

次々に話が広がる



そして・・・

これは、わたしが小さいとき村の茂平といつおじいさんから聞いたお話です。

お城があった時代から、ずっと語りつがれる

たずねびと

学習計画表六時間

付けたい力

物語の全体像・心情の描き方・中心人物が出会うものの物語に対する影響

1

初発の感想・学習課題

2

場面の整理とあらすじ

3

広島へ行く前とついてからの綾の気持ちの変化

4

「名前」の変化について

5

綾がたずねた場所や出会った人は何を伝える役割をしていたか

6

意見文をまとめる



たずねびと 1

朽木 祥

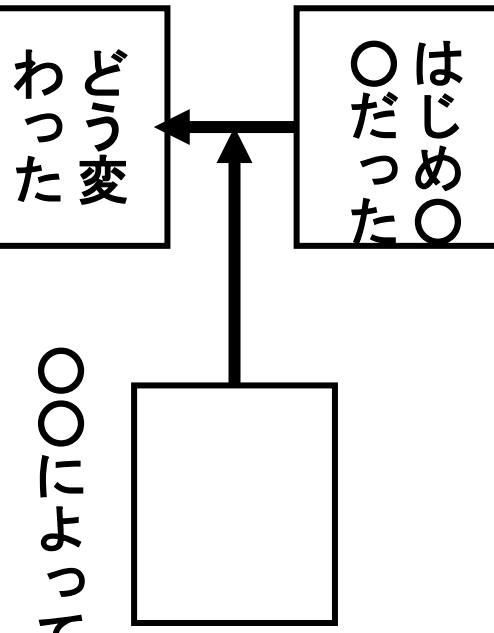
め全文を読み学問の見通しを持つ

物語文 作者（伝えたいこと） 場面「時・場・人」 作品の心

題名から・・・・・だれをたずねているの?

○物語文

作品の心
変容→中心人物



○初発の感想

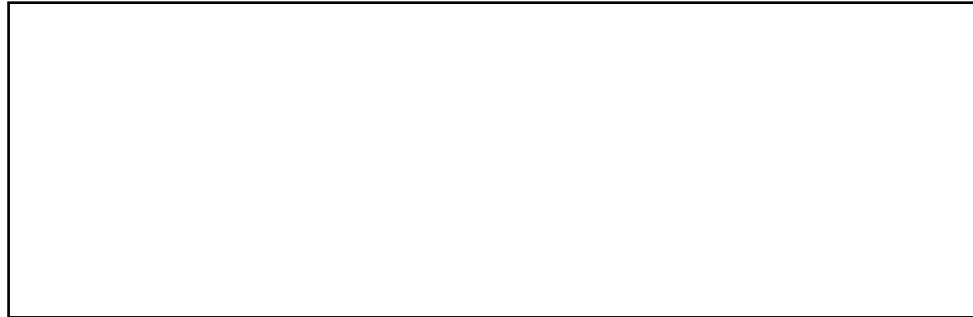
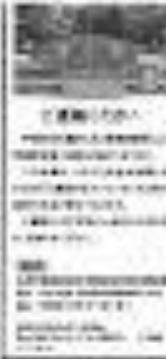
大きな課題

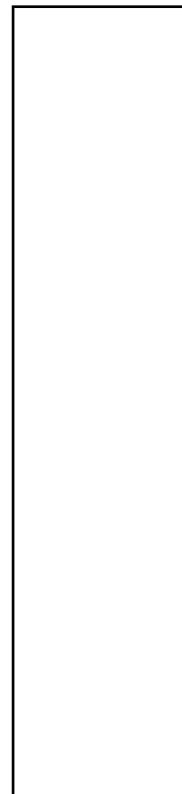
感想

○新出漢字と難語句

作者の考え方を読み取り、「これから」の社会と生き方について話し合おう

原爆供養塔納骨名簿 遺族を捜しています 広島市





め

場面の内容を読みとろう

「（した）綾」でまとめよう

① ポスターで自分と同じ名前を見つけた綾

② 夢を見て。ポスターを見にいくことに決めた綾

③ みんなで広島に行くことを決めた綾

④ 資料館で原爆のすこさを知る綾

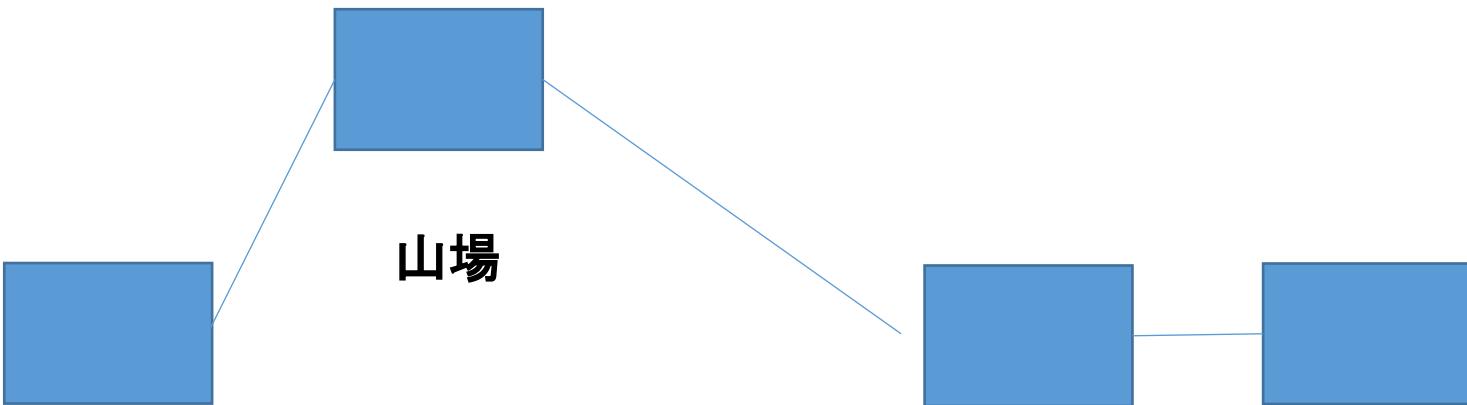
⑤ 祈念館で一人一人の顔を見る綾

⑥ 供養塔でおばあさんからよろこばれる綾

山場

終末

⑦ 橋の上で一人一人の名前の大切さを思う綾



め 綾の考えが変わったのはどこだろう

挿絵と場所・行動を表す言葉から考えよう

駅の構内のポスター

どうして、だれも「の子のこと」を覚え
ていないのかな

夢の中

もう一度ポスターを見にいくことに決めた

原爆ドーム・平和記念資料館

ひどい・知らなかつた

秋の空は高く青くすんで、ゆつたりと流れる
川にも空の色がうつっていた

追悼平和祈念館

ショック・本当にいたんだ

スロープを下りて入つていく追悼平和祈念館は
ひつそりと静かだった

原爆供養塔

はずかしい・考
えたことがなかつた

もう一人のアヤちゃんが
あなたに会いに来てくれ
たよ

原爆ドーム近くの橋

わすれてはいけ
ない

この橋をわたつたときには、きれいな川でしか
なかつた。ポスターの名前が、ただの名前でし
かなかつたように

たずねびと4

朽木 祥

め

名前はどう変わつていつたのだろう

駅の構内のポスター

夢の中

原爆ドーム・平和記念資料館

追悼平和祈念館

一人一人の顔

十四万人の一人

ただの名前

原爆ドーム近くの橋

原爆供養塔

夢や希望があつた

確かにこの世にいて、
泣いたり笑つたりして
いた

わすれないとしたら

世界中だれも、二度と同じような
目にあわないですむのかもしれない

アヤだけではなく、うかび上がつてきた

祈念館の子どもの顔

夢で見失った名前

たずねびと

朽木 祥

め

場面の内容を読みとろう

秋の空は高く青くすんで、ゆつたり流れる川にも空の色がうつっていた。ほね組みがむきだしのドームがその場にあるのが、不思議なくらい、明るく晴れ晴れとした景色だった。

秋の日は短くてしづみかけていた。川土手をゆつくり歩いて橋に向かつた。
静かに流れる川。夕日を受けて赤く光る水。

たずねびと5

朽木 祥

め

綾の考えが変わったのはどこだろう

おばあさんとの出会い

わたしたちが忘れないでいること

消えてしまった町

名前でしかいない人々

名前でしかいない人々

数でしかいない人々

数でさえない人々

静かに流れる川

「やまなし」「イーハトーヴの夢」

学習計画表

付けたい力

作品の世界をとらえ、
自分の考えを書く

1

初発の感想・学習計画

2

「やまなし」の世界を捉える

3

「やまなし」の独特な表現に着目する

4

「やまなし」の五月と十二月を対比する

5

「イーハトーヴの夢」宮沢賢治の生き方や考え方を知る

6

題名に着目して読み賢治の考え方と重ねる

7

作者が作品にこめた思いについて考え、文章にまとめる

書いた文章を読み、感想を伝え合う



小川未明・坪田譲治
浜田広介・壺井栄

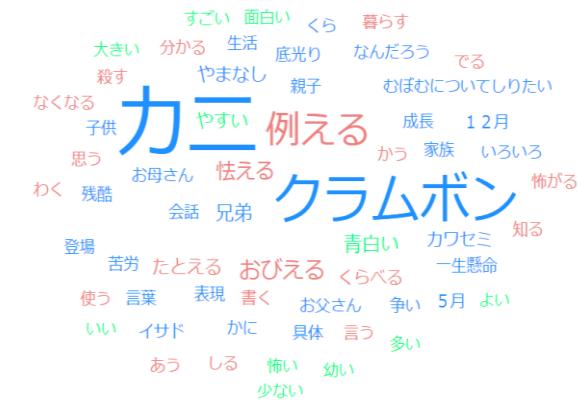
題名のつけ方	作品世界
構成	
表現のしかた 言葉の使い方	
考え方	
生き方	
他の作品の書かれ方	作者

やまなし1

全文を読み学習の見通しを持つとう

○宮沢賢治　　注文の多い料理店

○初めて読んだ感想を言おう（スプレッドシートに記入→テキストマイニング）



- ・たとえが多い
- ・ふしぎな言葉がある
(クラムボン)
- ・力二の兄弟や親子の
様子が面白い
(おびえる)
- ・五月と十二月でちがう
カワセミ・やまなし

○学習課題

「やまなし」は何が伝えたいのだろう

・付けたい力

作品の世界をとらえ、
自分の考えを書く

○学習計画

- ・やまなしを読む
- ・イーハトーヴの夢を読む
- 組み合わせて考える

○新出漢字と難語句

ま

「やまなし」の作品世界と伝えたいことを
とらえる

やまなし2

- ・「やまなし」の世界をどうえよつ

・ふしぎな言葉がある（クラムボン）

クラムボンって
何だろう

クラゲ	深海魚	力二
生物	空想上の	かな
成虫	およる	かに
クリオネ	生き物	ただ
名前	太陽	
クラムボン	思う	
ホンマ	高い	
	にる	
	深海	
	お母さん	
	可能性	
	おもう	
	つぶつぶ	

五月 時
場所 小さな谷川の底
人物 二ひきのかにの子どもら

- 視点 川の底から見ている

・カニの兄弟や親子の様子が面白い
かにの気持ちを顔で表してみよう

五月

十一月

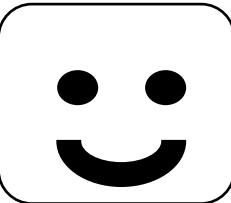
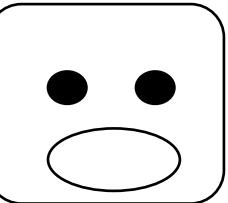
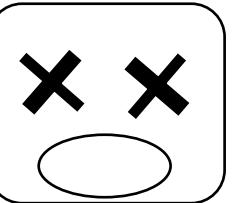
かにの子ども
らが

かにの子ども
らが

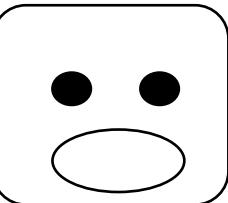
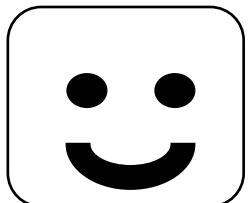
そのときです。

そのとき、ト
プン。

「こわいよ。」



「おいしそう
だね。」



ま

「やまなし」は一つの話でつぶらわれている

青白いほのおをゆらゆら
あげているようでした

ま

たとえや色をいの表現のくぶつで物語の世
界がより伝わってくる

波の音がひ
びいている

十二月

水はサラサ
ラなり波は
青いほのお
をあわゆるのび
んの月光

黒丸い大
きなもの

きらきらつ
と黄金のふ
ちが光る

だけ青白い火を
燃やしたり
消したりし
てているよ
うトブン

月光にじが
もかもか集まる

ぽかぽか流
れていく

やまなしの
いいにおい
でいっぱい

お父さん

おどるよう
にしておい
かける



白いやわら
かな丸石

水晶
金雲母のかけら

五月

白いかばの花

ぎらぎらす
る鉄砲玉み
たいなもの

日光の黄金

つぶつぶあね

つうと
銀色の腹
鉄色

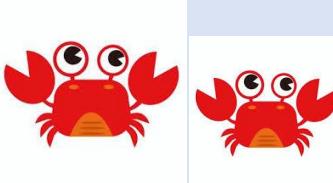


光のあみ
ゆらゆらゆれ

水銀のように
光って

お父さん 青白い水の底

ぽつぽつぽつ



め

「やまなし」の表現とその効果をどういいますか

- たとえを使った言葉
- 言葉のひびきで様子を表す表現
- 色さいを使った表現

どれが多いですか
なぜたくさん使つ
たのでしょうか

やまなし3ワークシート

(塚田
大琥)

相良
奏姫

- ・たとえを使った言葉
- ・言葉のひびきで様子を表す表現
- ・色さいを使った表現

五月

日光の
黄金

鉄砲玉
のよう
なもの

白いカ
バの花

つぶつ
ぶ泡

銀の色
の腹

光の
あみ

ゆらゆ
らゆれ

水銀の
ように
光って

青く黒く銅
のように見
える

ラムネ
のびん

きらきらっ
と黄金のふ
ちが光る

トプ
ン

月光のにじ
がもかもか
集まる

ぼかぼ
か流れ
ていく

おどるよう
にしておい
かける

お父さん



白いや
わらかな
丸石



水晶、金雲
母にかけら

十二月

水はさ
らさら
なり

波は青いほ
のおをあげ

青白い
ほのお

ゆらゆらあ
げているよ
う

面白く
するた
め

色々想像で
きるように
するため

より、わか
りやすくな
る。

なぜたくさん使つたのでしょ
う

ま

五月と十二月を比べると作者の伝えたいことが分かる

やまなし

かわせみ

厳しさを伝えたい

なぜ「やまなし」という題名なのでしょう

みんなを幸せにするような世界を伝えたい
命を大切さを伝えたい

作者はどつちが好きだと思いますか

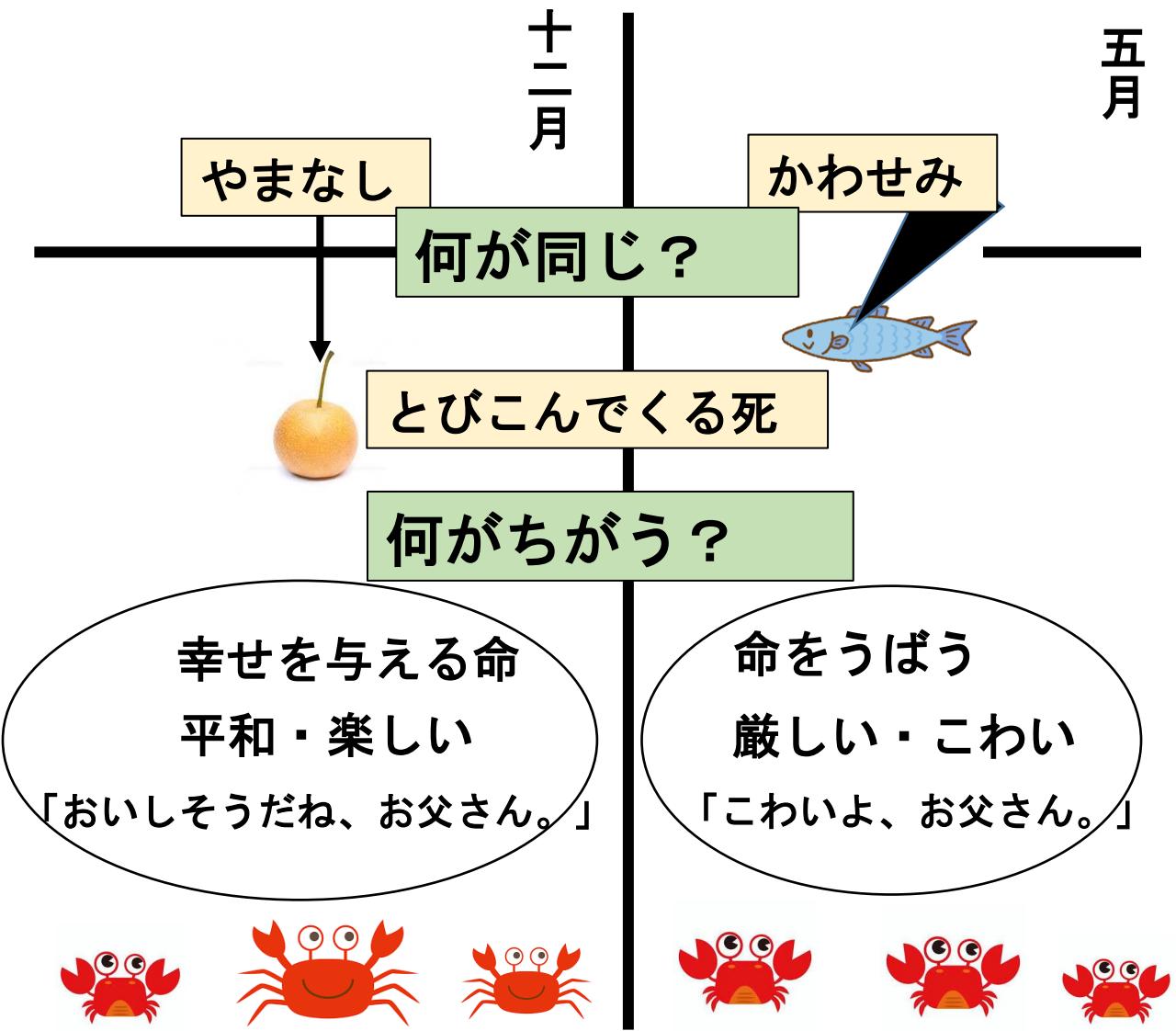
明るい平和な世界が好き

五
月

五月と十二月を比べて、分かる」とを考え
よ
う

やまなし4

め



め

「イーハトーヴ」の夢を読んで、賢治の思いや
夢、生き方を考えよう

自然災害

農という字
ひまわり

たくさん
の詩や童話

トーヴ
のパノラマ
地図

銀河鉄道の夜

羅須地人

病気

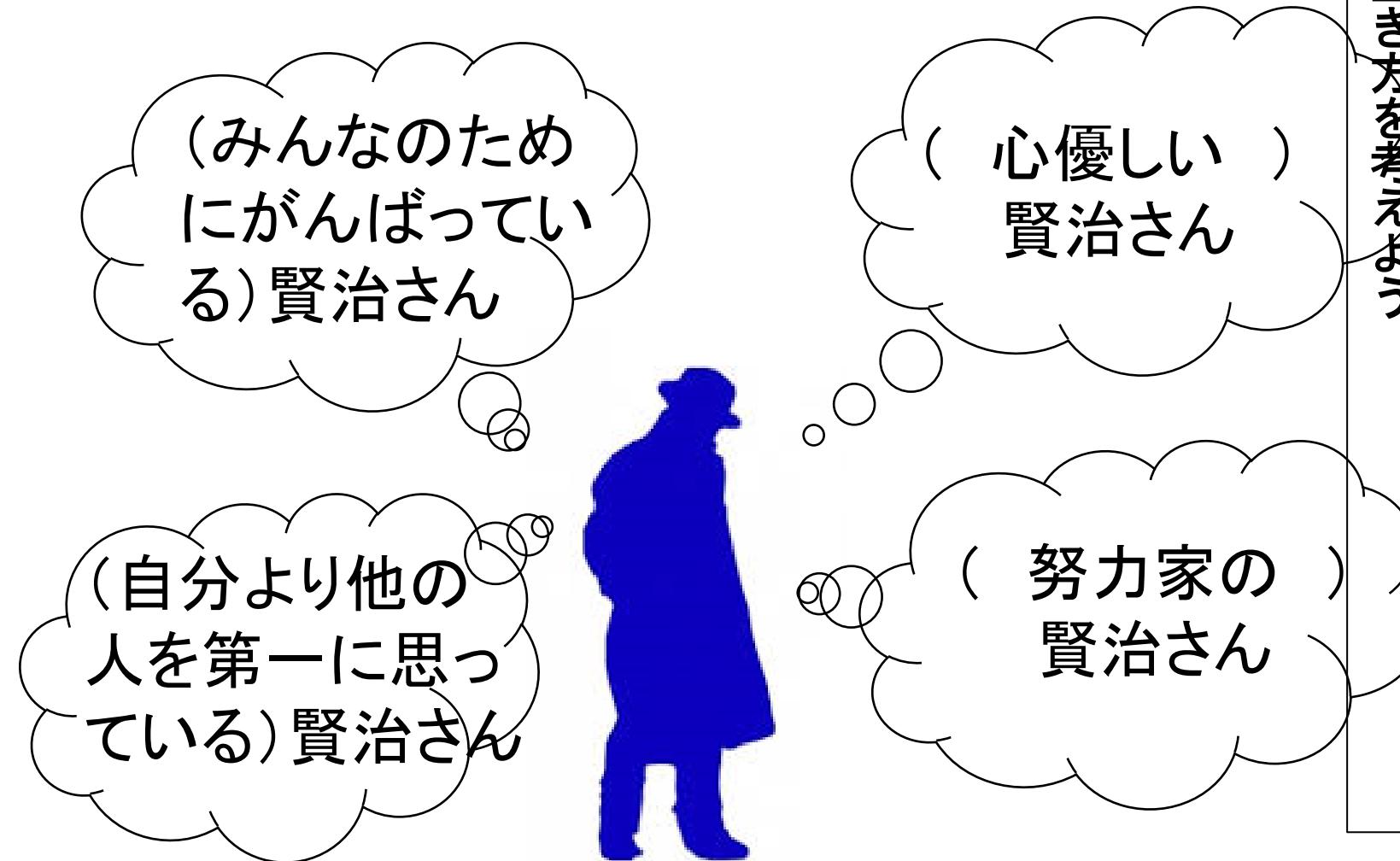
ま

生き方 自分を犠牲にしても助ける

夢 岩手を素敵な場所に

思い 厳しい現実から抜け出させたい

思い 互いに優しい心をもつてほしい



やまなし6

賢治がやまなしで伝えたかったことを考えよう

賢治が「やまなし」の作品に出でているなら何になつていると思いますか。

条件
・賢治の思い・夢・生き方を入れ、「うしたいから」で考える

やまなし 多くの人を幸せにしたい
かわせみ 命の厳しさを伝えたい
親がに はげましてあげたい
あわ みんなを見守りたい
魚 太陽・月
× × × × ×

食べられたい
かがやきたい

こわい世界も伝えたい

五月をいれる」とと
十二月が強調される

賢治の思い

みんなをはげましたい
みんなを幸せにしたい

理想の世界

地震・大雨・洪水・伝染病
農作物の被害
苦しい農作業 冷夏
理想と現実の農業はちがう

厳しい現実

賢治は「やまなし」で厳しい現実と理想の世界を描き、励ましていく自分を描きたかった。
賢治は「やまなし」で何が伝えたいと思いますか
・厳しい現実と理想の世界を伝えたい
・自分が見守り助けていきたい

ま

め

賢治は「やまなし」で厳しい現実と理想の世界を描いたかった。

やまなし

め

「やまなし」作品紹介カードを作ろう

表現 対比 題名 生き方や夢、考え方

「やまなし」作品紹介カード

「やまなし」の表現のくふうなどの紹介

作品にこめた思いや夢



やまなしょ

め

友だちの文章を読み、感想を伝えよう

○自分の考えと似ているところ

○自分の考えとちがうけれども納得したところ